



# 2023年12月期 第3四半期決算 補足説明資料

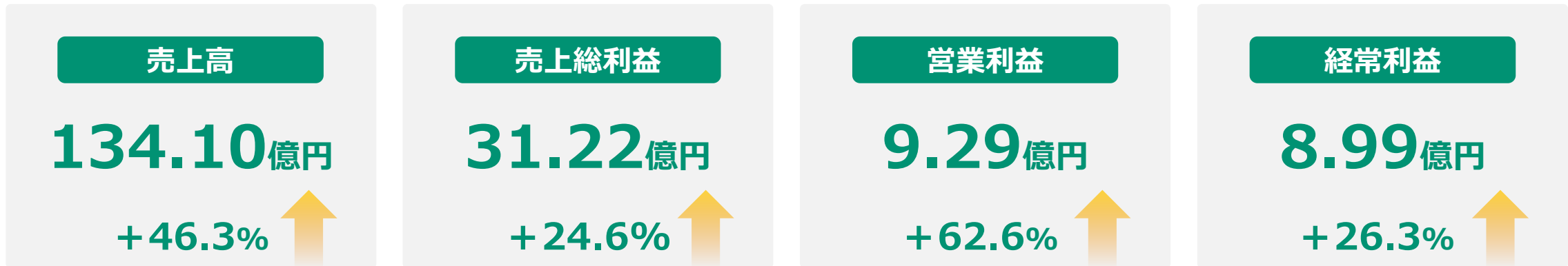
証券コード：3968

2023年11月13日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

# ハイライト：業績

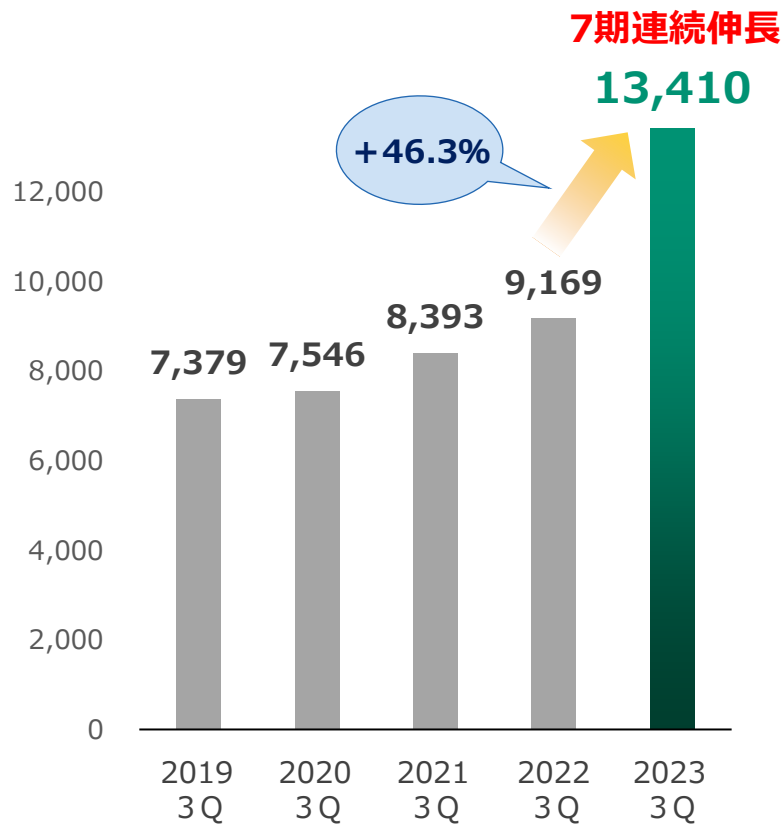
続くデジタルトランスフォーメーション（DX）化への需要と  
納期遅延解消により、プロダクト・サービス共に売上高が大きく伸長  
売上高、売上総利益は、第3四半期における過去最高額を7年連続更新！



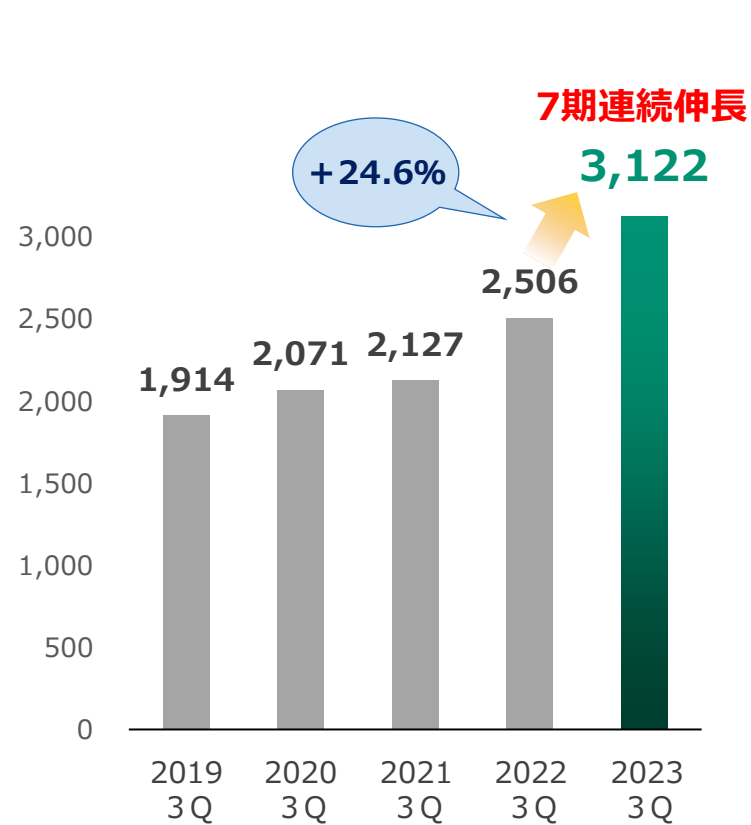
- VAD: 納期遅延の期間において大手IT企業、通信事業者グループとの取引拡大。受注残高分の納入も含み、プロダクトの売上が好調。プロダクトの販売に付随してサービスの売上也伸長し、売上高、売上総利益ともに大きく増加。
- システムインテグレーション: 大型案件の低利益率案件を含みつつ、増収増益。
- 自社開発: 自社開発製品の販売は想定通り進捗するも、自治体情報システム強靱化案件のピークを終える。自社サービスのセグエセキュリティが立ち上がり遅れのため、減収減益。

# ハイライト：業績推移

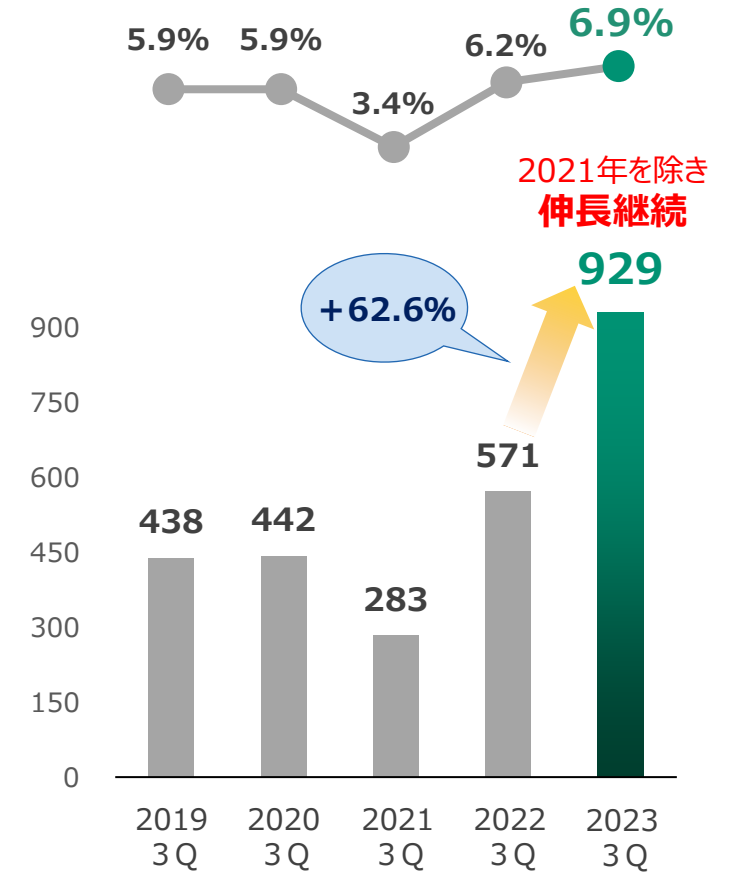
## 売上高 (百万円)



## 売上総利益 (百万円)

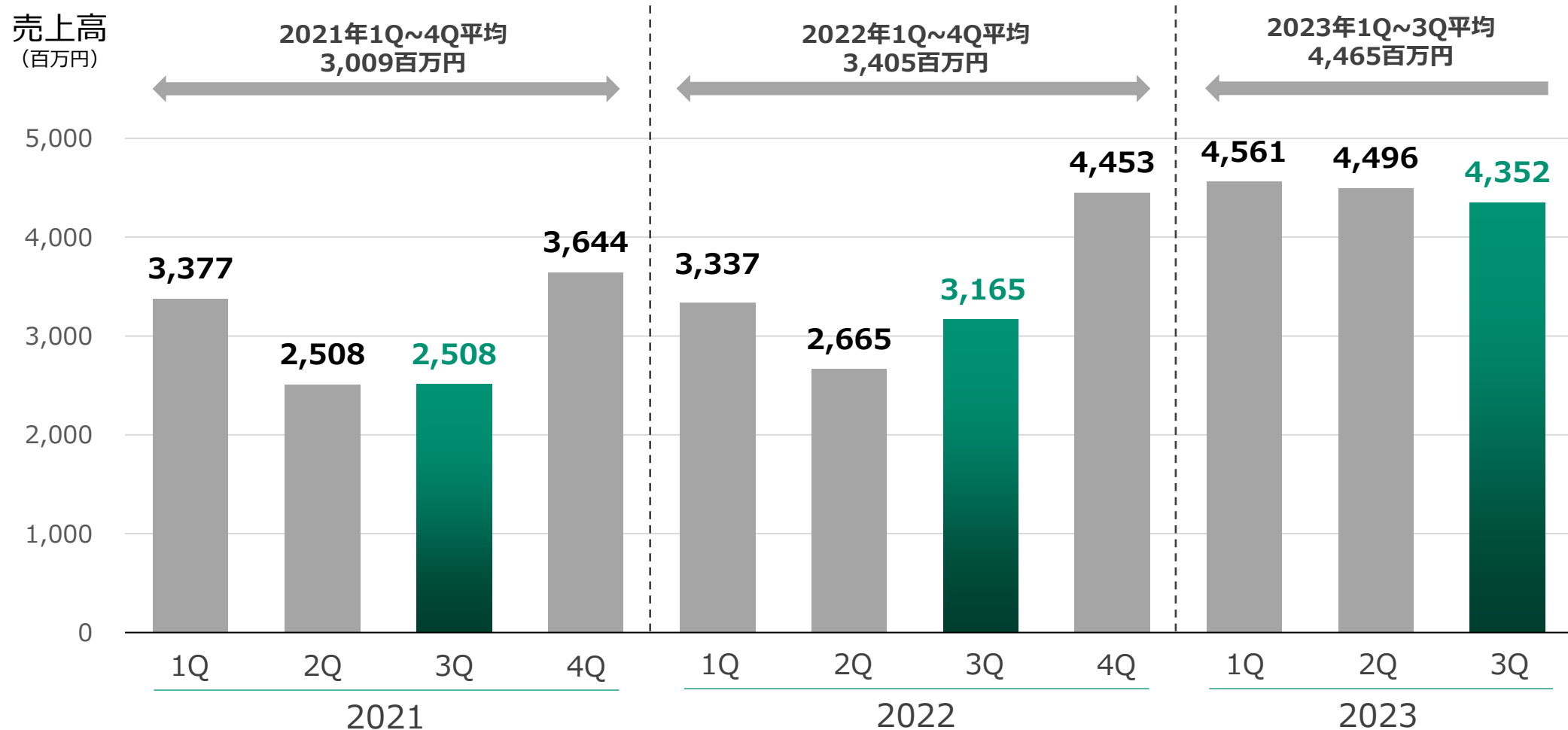


## 営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)



# ハイライト：売上高 四半期推移（会計期間）

好調な受注による売上に、納期遅延の解消で受注残高分の売上も加わる



# ハイライト：受注の状況

プロダクト、サービスともに好調な受注により、受注高は133億円（第3四半期累計において過去最高）

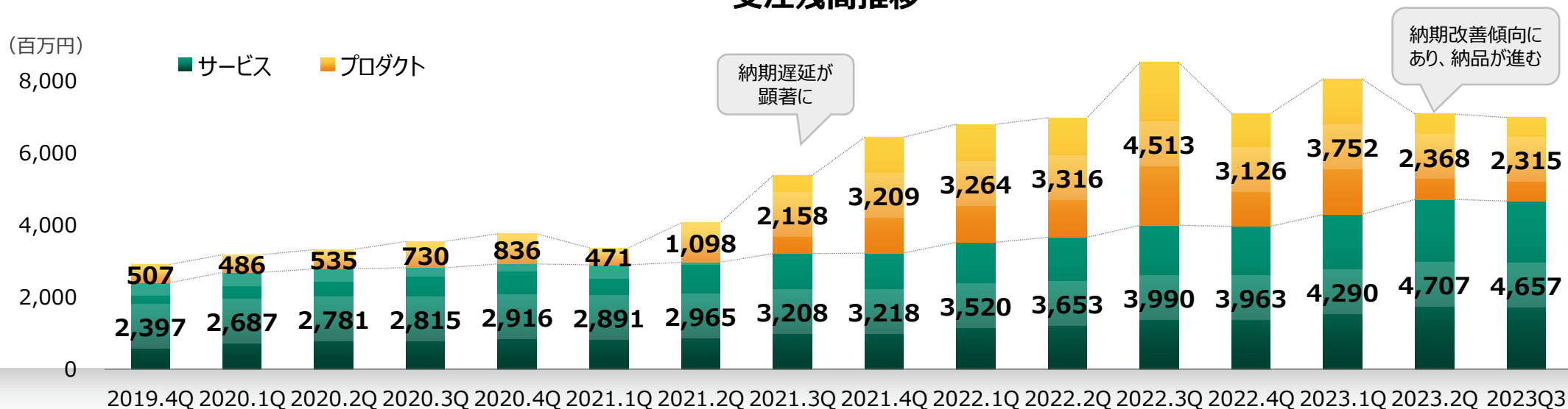
プロダクトの受注残高は、納期遅延の改善により納入が進む（平常時に近づく）

サービスの受注残高は、ストック型中心に順調に増加

累計受注高推移

	2020.3Q	2021.3Q	2022. 3Q	2023. 3Q	2023/2022比 増減率
プロダクト	4,315	5,595	6,948	7,650	+10.1%
サービス	3,871	4,413	4,295	5,642	+31.4%
合計	8,187	10,008	11,244	13,293	+18.2%

受注残高推移



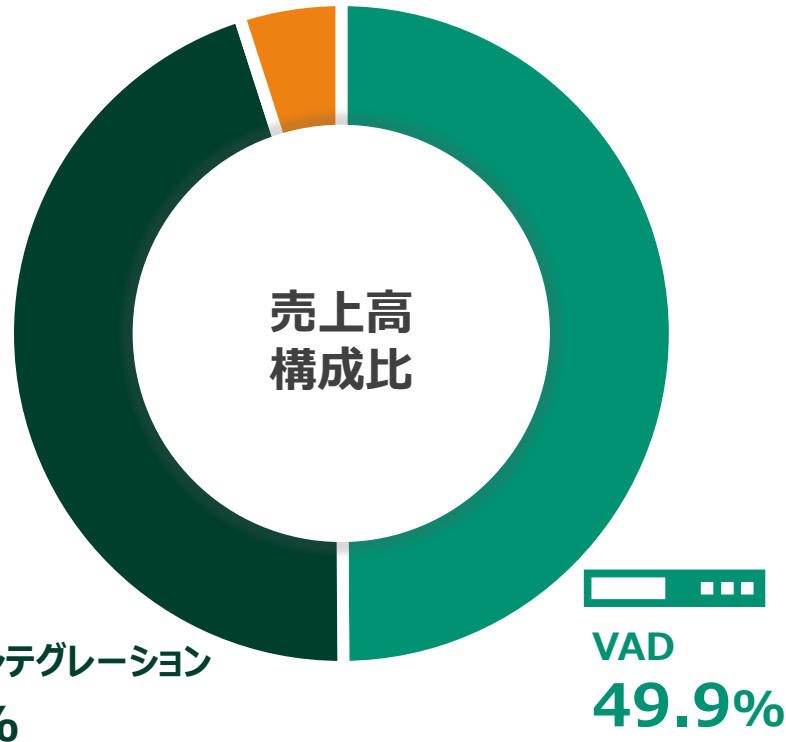
# ハイライト：ビジネス別数値

VADは、受注残高分の納品も含み、売上高、売上総利益ともに大きく伸長

システムインテグレーションは、プロダクト販売の増加で低利益率案件を含みつつ、増収増益

自社開発は、自社開発製品の販売は想定通り進捗するも、自治体情報システム強靱化案件のピークを終え、減収減益

🔒 自社開発  
5.0%



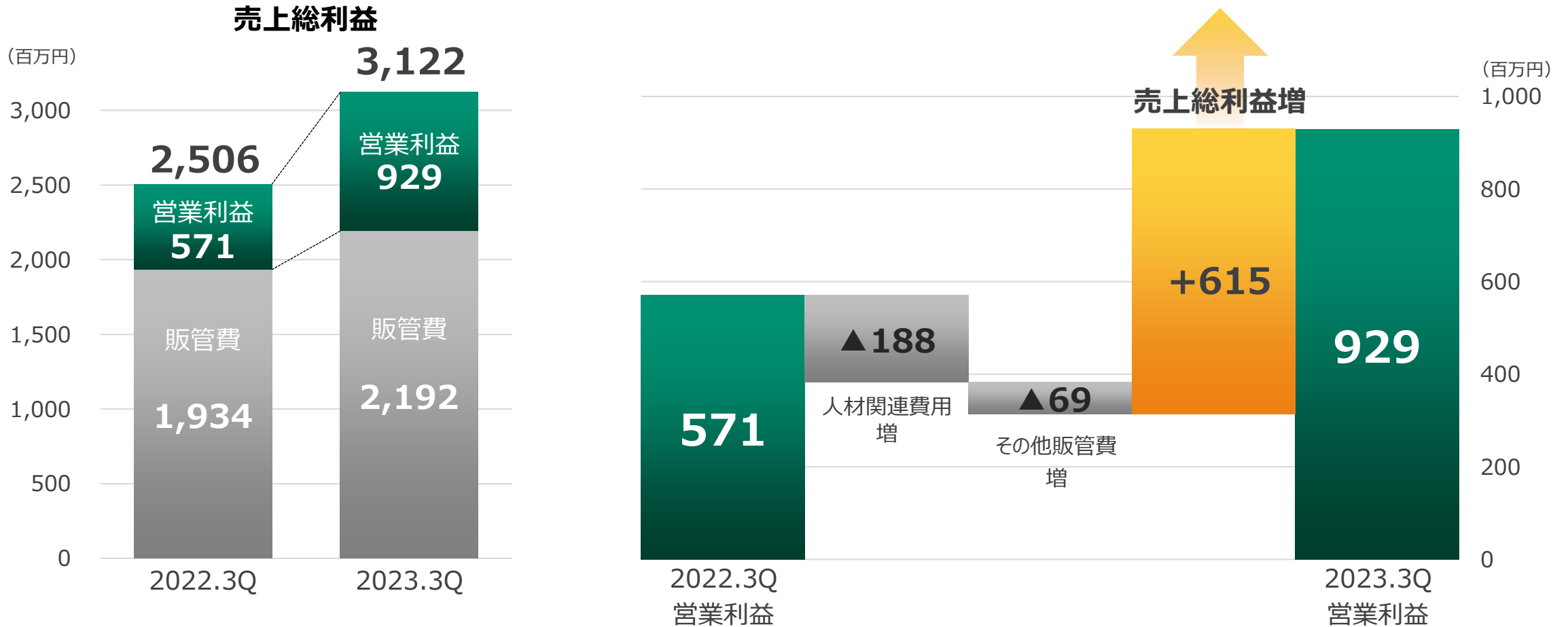
VAD ビジネス	売上高	↑	売上総利益	↑
	66.92億円	+57.6%	14.16億円	+54.4%

システム インテグレーション ビジネス	売上高	↑	売上総利益	↑
	60.53億円	+47.3%	11.86億円	+19.5%

自社開発 ビジネス	売上高	↓	売上総利益	↓
	6.64億円	▲18.1%	5.18億円	▲12.8%

# ハイライト：営業利益増減内訳

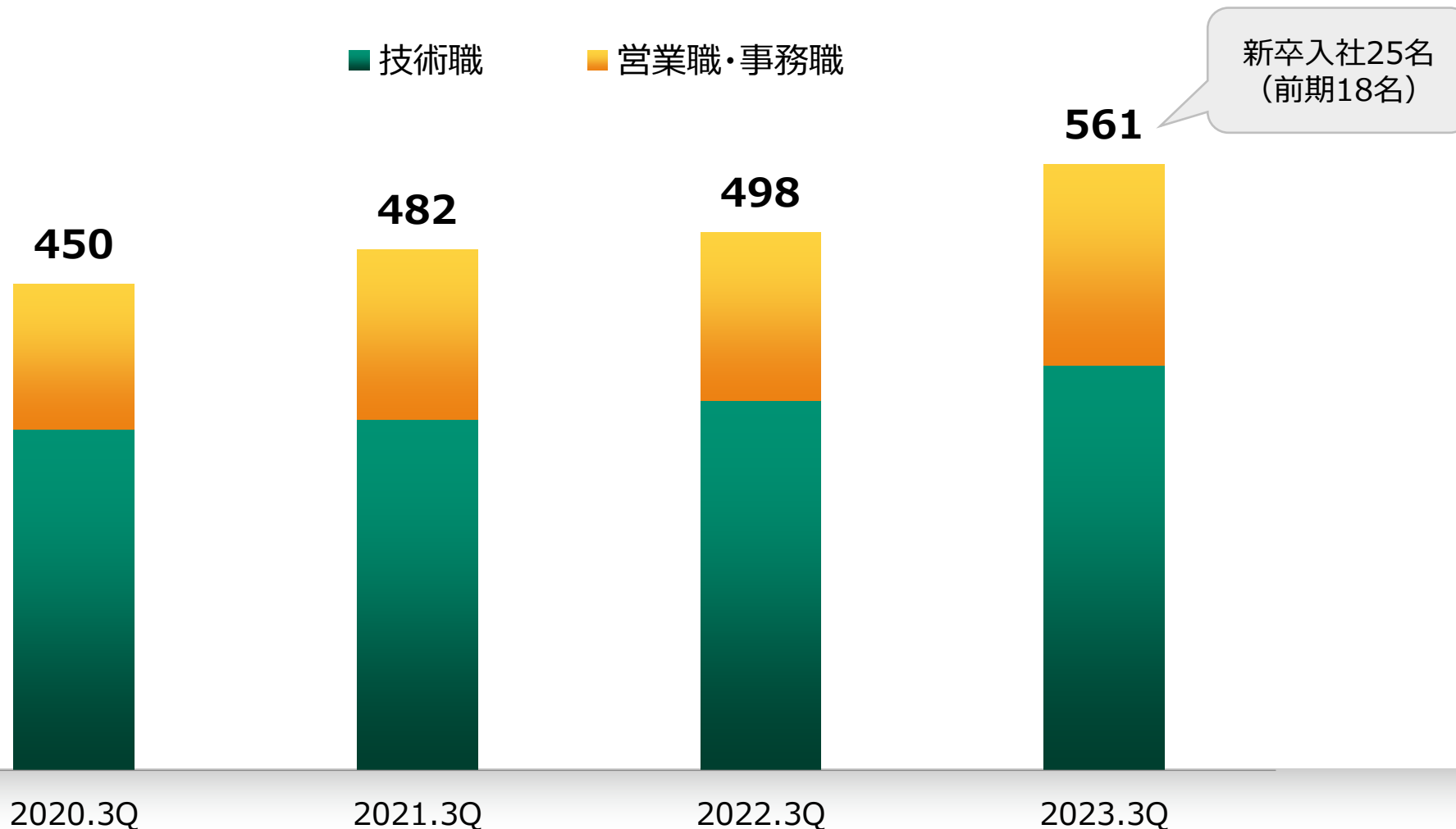
人員増加（昨年対比63名増：内 販売管理費対象30名）による  
販管費増加を売上総利益の増益が吸収し、営業利益も大幅な増益



※第2四半期補足説明資料の掲載時に誤集計があり、販管費の内訳の数値に誤りがありました。第2四半期補足説明資料はすでに修正済みです。

# ハイライト：人員推移

## 採用強化や新子会社の参画により、従業員数増加





## 売上高、各段階利益において過去最高値を更新！！

単位：百万円

	2022.12 3Q	2023.12 3Q	前年同期比		通期計画	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	9,169	13,410	+4,241	+46.3%	15,700	85.4%
売上総利益	2,506	3,122	+615	+24.6%		
(利益率)	27.3%	23.3%	▲4.1pt			
販売費及び 一般管理費	1,934	2,192	+258	+13.3%		
営業利益	571	929	+357	+62.6%	1,000	93.0%
(利益率)	6.2%	6.9%	+0.7pt		6.4%	
経常利益	711	899	+187	+26.3%	1,000	89.9%
(利益率)	7.8%	6.7%	▲1.1pt		6.4%	
純利益※	584	596	+11	+2.0%	679	87.8%

※親会社株主に帰属する当期純利益

※営業外費用に為替差損（29百万円）を計上

※前期は、営業外収益に為替差益（166百万円）、特別利益に有価証券売却益（174百万円）を計上

## 将来的に売上となるストック型サービスの前受金が、大幅に増加

単位：百万円

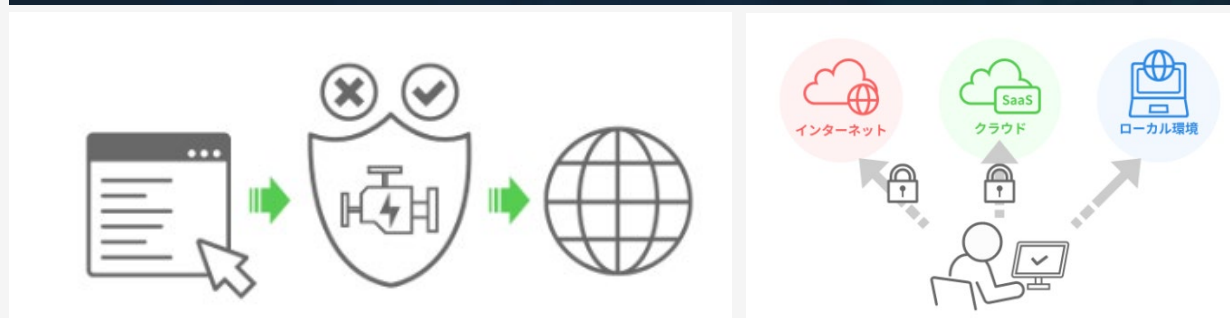
	2022.12 3Q	2022.12 期末	2023.12 3Q
<b>流動資産</b>	<b>8,518</b>	<b>9,975</b>	<b>9,816</b>
現金・預金	2,318	2,989	3,073
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	1,864	2,360	2,164
棚卸資産	2,939	3,103	2,828
その他	1,396	1,521	1,750
<b>固定資産</b>	<b>1,220</b>	<b>1,276</b>	<b>1,558</b>
有形固定資産	206	248	336
無形固定資産	121	258	257
投資その他資産	891	770	964
<b>資産合計</b>	<b>9,739</b>	<b>11,252</b>	<b>11,375</b>

	2022.12 3Q	2022.12 期末	2023.12 3Q
<b>流動負債</b>	<b>5,152</b>	<b>6,367</b>	<b>6,429</b>
買掛金	1,214	1,885	1,370
短期借入金等	250	287	302
<b>前受金</b>	<b>3,010</b>	<b>3,137</b>	<b>3,817</b>
その他	677	1,055	939
<b>固定負債</b>	<b>1,042</b>	<b>1,200</b>	<b>998</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,194</b>	<b>7,567</b>	<b>7,427</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,544</b>	<b>3,685</b>	<b>3,947</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,739</b>	<b>11,252</b>	<b>11,375</b>

- VADビジネス
  - ✓ 受注の増加やBCPへの対応として、首都圏ロジスティックセンター開設を進める
- 自社開発ビジネス
  - ✓ RevoWorksクラウドを12月1日からサービス開始予定 ※2023年10月19日開示
- 人員強化
  - ✓ 幹部人材の採用
  - ✓ 管理職研修、リーダー研修の実施により、従業員のスキル向上を図る
- 環境整備
  - ✓ 継続的な増員への対応として、東京オフィスの増床を進める
- 海外展開
  - ✓ First One Systems Co., Ltd. (タイ王国：売上約10億円、社員数約40名)の子会社化に向けた交渉を開始 ※2023年10月19日開示

# 新規自社開発製品「RevoWorksクラウド」のリリース

「RevoWorksシリーズ」にゼロトラストブラウザ機能を実装した「RevoWorksクラウド」を12月より提供予定。  
クラウドサービス利用の普及に伴い増加するセキュリティリスクに対し、安全性だけでなくユーザ利便性を実現。  
官公庁・医療だけでなく、民間企業までターゲットを拡げ、今後3年間で20万ユーザーの獲得を目指す。



## RevoWorks Cloudの特長

### 高セキュリティかつ高い利便性

独自技術によりアクセス先ごとにブラウザやワークスペースを分離して安全なWebアクセスを実現  
ワークスペースはスムーズに切り換え可能で、生産性の向上にも貢献

### 簡便な導入

Windows 端末にインストールすることですぐに利用可能

### サブスクリプション型サービス

年間の従量型課金とすることで、  
ストック型収益の拡大への寄与に期待

タイ王国のFirst One Systems Co., Ltd. の株式60%取得の  
意向表明及び同社より受諾。

ISS Resolution Limited に続き海外進出を加速させ、  
両社の強みを活かしたビジネスシナジーの創出を図るとともに、  
ASEAN市場での更なる事業展開を目指す。

## 対象会社の概要

名 称	First One Systems Co., Ltd.
所 在 地	719 KPN Tower 11th floor ,Rama 9 Road, Bangkapi, Huay Kwang, Bangkok 10310 Thailand
代表者の役職・氏名	Terdsak Kijjatikankun CEO Founder
事 業 内 容	ネットワークインテグレーション事業、 ネットワークセキュリティ事業、 データセンター向けインテグレーション事業
資 本 金	40,000,000 THB (2023年4月)
設 立 年 月 日	2005年6月15日

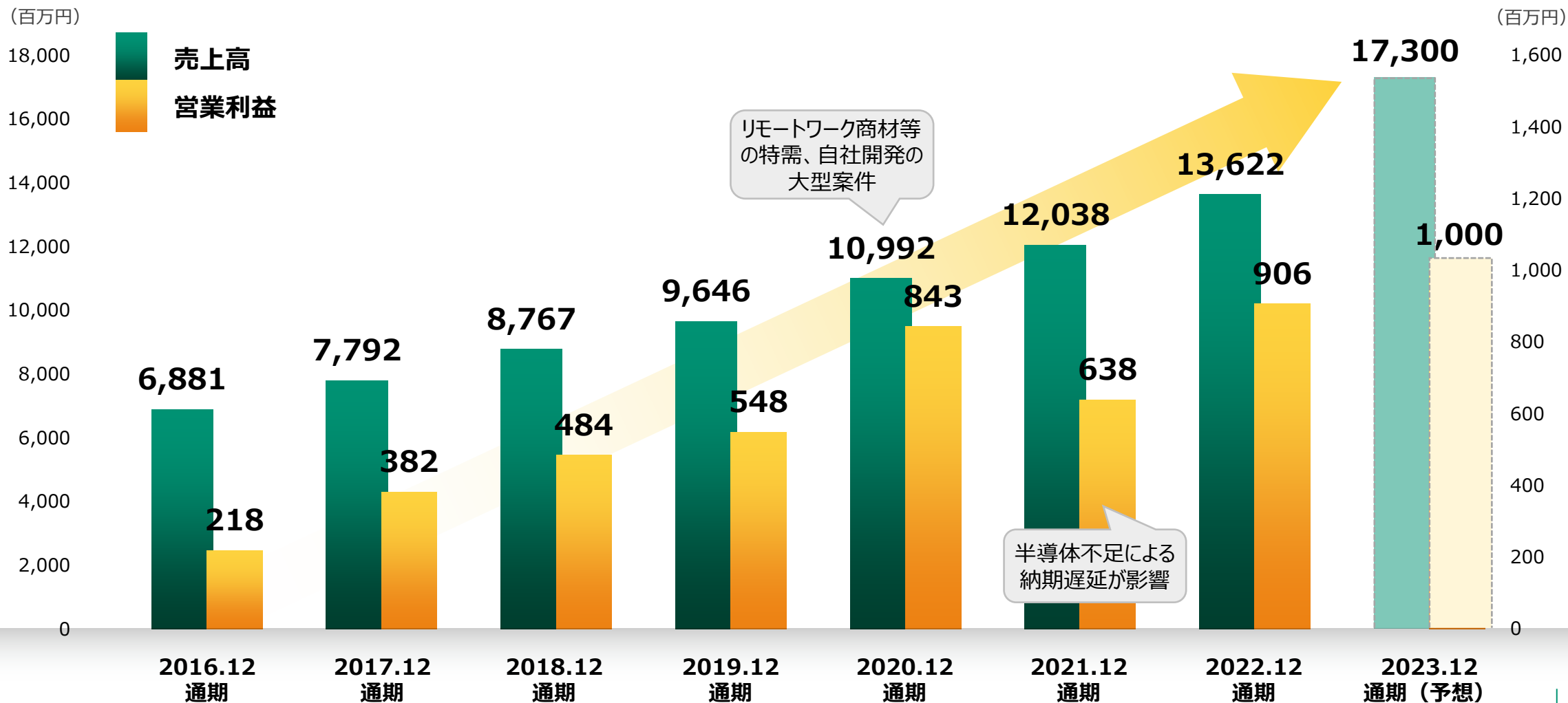
# 業績予想の修正 (2023年11月13日発表)

DXインフラ販売の大幅増加と納期遅延の改善により、3Q累計の売上高が過去最高となり、通期の売上高は前回発表の業績予想を上回る見込み。  
利益については、新たな経営計画の実現に向けての投資や商品在庫の評価見直し等により、修正せず。

単位：百万円

	2023.12通期 前回予想 (A)	2023.12通期 今回予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (B / A)	2022.12 通期実績 (C)	増減額 (B - C)	増減率 (B / C)
売上高	15,700	17,300	1,600	+10.2%	13,622	3,677	+27.0%
営業利益	1,000	1,000	0	0.0%	906	93	+10.3%
(利益率)	6.4%	5.8%	▲0.6pt		6.7%	▲0.9pt	
経常利益	1,000	1,000	0	0.0%	1,050	▲50	▲4.8%
(利益率)	6.4%	5.8%	▲0.6pt		7.7%	▲1.9pt	
純利益	679	679	0	0.0%	743	▲63	▲8.6%

## 事業環境の大きな変化、事業成長に向けた投資の実施やM & A等を考慮し、中期目標を新規に策定予定



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。  
本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

## IRについてのお問い合わせ先

**セグエグループ株式会社 経営管理部 IR担当**

<https://segue-g.jp/ir/contact/>